

【文学部 学部間協定留学】留学報告書

記入日	2024 年 1 月 13 日		
所属	文学部英米文学専攻(学科/専攻)		
留学(渡航)した時の学年	2年生		
帰国年月日	2023 年 12 月 24 日		
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月		
留学先大学について			
留学先国	韓国		
留学先大学	高麗大学(日本語名) 고려대학교 (現地言語名)		
現地使用言語/ 授業使用言語	韓国語/韓国語・英語		
留学期間	2024 年 9 月～2024 年 12 月		
留学先大学で在籍した学年	2 年生		
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): 英米文学部 (現地言語での名称): 영어 영문학과 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:		
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:		
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期:	～	2 学期: 9 月～12 月
	3 学期:	～	4 学期: ～

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ウォン)	日本円	備考
授業料	0	0円	学部間交換のため
宿舍費	1830000	225532 円	家賃は常に水道代・電気代込みで定額
食費	850000	約 89000 円	
図書費	60000	約 6600 円	
学用品費	10000	約 1100 円	
携帯・インターネット費		28800 円	30 日分の eSIM を 4 か月分購入
現地交通費	50000	約 5540 円	買い物・遊びに行く際のみ(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	100000	約 11100 円	
被服費	300000	約 33300 円	
医療費		14300 円	留学前に英文の診断書を日本の病院で発行
保険費		39955 円	形態: 明大サポート 海外旅行保険
渡航旅費		138780 円	日本の航空会社サイトで手配
ビザ申請費		4000 円	2000 円×2(日本で再発行したため)
雑費	400000	約 4400 円	
その他	+ 約 3100000	+ 280000 円	日本奨学生支援機構の留学支援金
その他		円	
合計	3600000	約 600000 円	留学準備のための費用込み・日本の会社を使用したため現地での金額が不明なためウォン換算と差額あり(差額 225835 円ほど)

渡航関連
渡航経路
往路 出発地: 成田 目的地: 仁川 経由地: 無し 復路 出発地: 仁川 目的地: 成田 経由地: 無し
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: エアプレミア、チェジュ航空 料金: 27780、29350 復路 航空会社: ティーウェイ航空、アジアナ航空 料金: 34420、43430 合計: 138780(空港までの特急列車代込み)
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: Trip.com) <input type="checkbox"/> その他()

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)	
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
ソウル部屋ナビ	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
高麗大学の寮の抽選があったのですが全て落ち、留学生オリエンテーションの日の一か月前に急いで探したところ、ソウル部屋ナビというサイトですごく安く留学先の大学のすぐ近くにある物件をなんとか見つけることができました。入居日に大家さんに施設内の設備の説明を受けたり、書類に署名しなければならなかったのですが、日本人のスタッフの方が同伴してくださり、まだカタコトの韓国語しか話せなかった私にはすごく助かりました。また、家賃の支払いの仲介もしていただきました。ソウル部屋ナビが掲載している物件数も他のサイトより多く、サイト自体もわかりやすかったと思います。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
特になかった。韓国は基本的に夜遅くにも人がいるし、お店も深夜までやっているところが多い。また学生街に家があったため、夜遅くも周りに学生がいて特に怖いことは無かった。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)	
30 日分の eSIM を留学期間の4回分買い、毎月切れたら使うようにしていた。家にも学校にも Wi-Fi があったためネットの不便は無かった。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
日本奨学生支援機構から毎月奨学金が送られ、それを VISA カードで引き落とししていた。韓国はカード社会なので現金は使えないというお店が多く、カードを使わなければならなかったが、カードを失くしてしまった場合資金調達できなくなってしまうのが怖く、WOWPASS という現金を入れて使うカードに引き落としした現金を入れて使っていた。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。	
薬局はどこにでもあるが、韓国語で薬剤師さんと薬の話をするのはかなり難しいと思うため、風邪薬やアレルギーの薬があると便利。また、自炊した際にやけどをしてしまい、万能な軟膏があれば便利だと思う。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
6単位		<input checked="" type="checkbox"/> 8 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
영미소설개론		英米文学入門
科目設置学部・研究科	文学部英米文学科	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ディスカッション形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が2回	
担当教授	최자윤	
授業内容	短編小説をディスカッション形式で読み解いていく授業。教授が生徒たちにどのように読み取ったのか質問してくるので、それに対して生徒たちが答える。新しい作品に入るたびにグループ発表があり、その作品の概要や解釈を発表者が発表し、それをもとにディスカッションを行う	
試験・課題など	グループワークの発表が 1 人 1 回必須、新しい作品に入るたびにその物語の内容に関する小テストがある、試験は中間考査と期末考査がある	
感想を自由記入	영감と呼ばれる英語で行う授業であったため、ディスカッションについていくには前もって文脈を英語で理解する必要があった。また、試験では授業で教授が言っていた解釈をもとに文脈に対する解釈をまとめて答える記述試験であったため、すぐ予習復習が必要だったが、英米文学を英語で読む力が上達した。また、ネイティブの留学生たちもうけていたため周りのレベルが高く、それによりもっと向上心を持って英米文学を学ぼうと思うようになった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
미국영화		アメリカ映画
科目設置学部・研究科	文学部英米文学科	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ディスカッション形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が2回	
担当教授	Peter McAuley	
授業内容	ハリウッド映画の歴史やハリウッド映画に含まれているイデオロギー的思想などについて教授が開講する授業。例として様々な映画を授業中に見せられるのだが、それに対する教授の問いかけをディスカッション形式で生徒が答えるという形だった。	

試験・課題など	授業内容がテキストの新しい内容に入るたびにそのテキストの内容に関する小テストがある、試験は中間考査と期末考査がある
感想を自由記入	ハリウッド映画の歴史についてしっかりと理解することができた。また、イデオロギー的思想という新たな着眼点を身に付けることができた。さらに、自分が今まで見たことのない面白そうなハリウッド映画をたくさん発見し、ハリウッド映画に対する興味が高まった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
한국어중급읽기		韓国語中級読み
科目設置学部・研究科	교양	
履修期間	秋学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が2回	
担当教授	밍경아	
授業内容	中級レベルのテキストの問題を解いて、その内容にまつわる話や文法などを教授が解説する。	
試験・課題など	課題が中間までと中間から期末までの間にそれぞれ 2 回出た。試験は中間考査と期末考査がある。	
感想を自由記入	使われる言葉が難しいが、教授の解説がとても分かりやすく、予めわからない単語の意味を調べたり問題を解いておき予習を十分にすれば理解できた。初見の文章でも中級レベルの韓国語であれば理解できる力が身に付いた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
한국어말하기초급 2		韓国語会話初級2	
科目設置学部・研究科	교양		
履修期間	秋学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が2回		
担当教授	주재환		
授業内容	テキストに基づいて初級レベルの韓国語の対話練習を行う。日常生活にまつわる単語も一緒に学ぶ。		
試験・課題など	個人発表を 1 回行うことが必須。テーマに関する作文課題が 5 回出る。試験は中間考査と期末考査がある。		
感想を自由記入	教授が毎回面白い話をしてくれるため、それによって実際の会話での言い回しや聞く力も伸ばすことができたと思う。また、対話練習によって文法的に正しい韓国語が瞬時に思い浮かぶようになった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
한국어초급 2		韓国語初級2	
科目設置学部・研究科	교양		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が4回		
担当教授	김한나		
授業内容	テキストをもとに初級レベルの表現を学ぶ。変則などの文法は既に頭に入っている人向けの内容だったと思う。対話練習用の問題や問題の回答の指名が頻繁にある。		
試験・課題など	1 単元につき 1 回、各単元が終わる毎に作文課題が出される。個人発表が 1 回ある。試験は中間考査と期末考査がある。		
感想を自由記入	授業中に問題の回答者が指名されることが多く、また対話練習もほぼ毎時間行われた。さらに、教授が毎回課題の作文のフィードバックを丁寧にくださった。そのおかげで初級レベルの韓国語の表現を完璧にマスターすることができたと思う。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。 未定だが、留学経験を活かせるような職業に就きたいと考えている。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学前考えていたものとは全く違う職種に対する興味が高まっている。私の中で留学の目的の 1 つが将来の職業に対する自分の視野を広げることであったため、その点においても留学をしてよかったと思う。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
 (例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	明治大学入学
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	留学プログラムに応募、審査
留学開始年	1 月 ~ 3 月	大学で習った韓国語の復習
	4 月 ~ 7 月	韓国語教室で会話練習用のオンライン授業を受講。留学奨学金の書類など留学準備やビザ取得、家探し、
	8 月 ~ 9 月	8 月に家族と家や学校など留学先の下見、留学開始
	10 月 ~ 12 月	留学
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	帰国、留学後の書類などの提出、TOEIC 試験
	4 月 ~ 7 月	TOPIK 試験
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

まず、どこに留学しに行くのかどうか関係なく、私がこれから留学することを考えている人たちにとって伝えたいのは、海外渡航の準備に関する注意点です。韓国留学初日、韓国現地の空港に着くや否や入国審査に引っかかりました。私は留学前に一度下見に韓国を訪れ、その後日本に帰国してしまったため、その際に留学用に発行した VISA を使ってしまったのでした。そのため、VISA を再発行しに留学最初の週末日本に即帰国する羽目になりました。VISA だけに限らず留学に必要な書類の提出など、留学の準備にはすごく注意が必要です。

留学先で私は 5 個授業を取ったのですが、そのうち 3 個が韓国語の授業、2 個は英米文学科の授業でした。すべての授業を韓国語にしなかったのは영강(英語で行われる講義)を受講することで英語の実力を上げることができればこの留学を通して2つの言語を同時に学べるのではないかと考え、영강の英米文学の授業を2つ受講することにしました。

英米文学の中でも、私はハリウッド映画やアメリカのドラマに関心があるため、アメリカ映画に関する授業と短編の読解入門の授業を受講しました。英語で受講することで、今まで日本語訳を読んで間接的に学んでいた英米文学を英語で文脈を読み解きながら学び深く理解することができ、英語で直接読み解いて学ぶことの重要性に気づかされました。また、高麗大学の英米語学科の人たちの読解力や英語力の高さにすごく感化され、向上心を持つことができました。

韓国語の授業については、2 年次の第 2 外国語の韓国語の必修授業との単位変換のため初級韓国語の授業 2 つと、さらに韓国語のレベルをあげたいと思い中級韓国語の授業 1 つを受講しました。初級の韓国語の授業で学ぶ韓国語の基本的な表現は、日本ですでに勉強したものではあるものの、すらすらと話せるほどには定着していなかったのですが、今まで知らなかった実践的なことまで完全に習得することができました。また、中級韓国語の授業ではよく使われる難しい言葉やその使い方を学ぶことができ、日本にいた時と比べはるかに韓国語の実力を上達させることができました。

言語の面では外国人留学生と交流するためには、留学前に英語・韓国語の会話練習はしておくべきかと思えます。私は留学前に韓国語のみオンライン講座を受講していましたが、英会話も練習しておくべきだったなと思いました。どちらか片方ではなくできれば両方簡単なコミュニケーションが可能な程度にはしておくべきだと思います。英語も韓国語も留学先に来てから使っていくうちにできるようになっていくとは思いますが、留学前から練習しておいた方が後々プラスになると思います。私は言語を身に付けるために、授業は必ず予習復習をし、授業以外にもドラマや Youtube などを見てネイティブの表現の仕方を学んだり、現地の学生と友達になって会話することでアウトプットをしていたのですが、そのおかげか日本にいた時に比べてすごく英語・韓国語のレベルを上げることができ、外国人の友達とコミュニケーションをとることができました。そのため、留学先でただ生活するだけでなく、意識的に言語の勉強をすることもとても重要だと思います。

私の留学先は韓国であり、英語圏ではなかったにもかかわらず、周りに韓国人だけでなく外国人もたくさんおり、様々な国の人との付き合いを経験することができました。特にヨーロッパ圏出身の友達は他国のヨーロッパ圏の国と隣接しているためか、自国以外の言語にも文化にもとても精通しています。そのような友達のおかげで様々な文化や価値観を知ること、今まで自分の視野がとても狭かったということにすごく気付かされたように感じました。私が韓国留学を考えている人に向けて伝えたいのは、韓国に来たからといって韓国人のみと付き合いおうとせず、韓国で出会う様々な国の人々と交流するようにしてほしいということです。韓国に来ている留学生たちは遠方の国から周辺国まで世界中の様々な国から来ています。彼らは韓国に関心があることはもちろん、どの国の人とも積極的に関わる姿勢を持っており、英語が流暢でなくても優しく受け入れてくれます。高麗大学は特に外国人留学生がたくさん在籍しており、とてもグローバルな学校です。そのような環境は本当に貴重なため、ぜひ外国人留学生たちと積極的に関わる姿勢を持ってほしいなと思います。また、距離的にも文化的にも韓国と近い日本に対してもすごく関心のある人が多く、韓国で現在日本の文化などの人気も高まっているため、自分は他の国の人から見て日本人の 1 人であるという意識を持って留学先で出会う人々と付き合いってほしいなと思います。